有価証券及び投資有価証券

社債及び上場投資信託は相場価格を用いて評価している。これらは活発な市場で取引されているため、その時価をレベル１の時価に分類している。

長期借入金、リース債務及びＰＦＩ債務

これらの時価は、元利金の合計額と、当該債務の残存期間及び信用リスクを加味した利率を基に、割引現在価値法により算定しており、レベル２の時価に分類している。

Ⅶ．賃貸等不動産に関する注記

岩手県において、賃貸等不動産を保有しているが、賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略している。

Ⅷ．資産除去債務に関する注記

１．資産除去債務の概要

石綿障害予防規則等の規定に基づく建物のアスベスト除去に伴う原状回復義務である。

２．資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を残存耐用年数から37月～49月と見積もり、割引率は0.111％～0.143％を使用して資産除去債務の金額を計算している。

３．当該年度における当該資産除去債務の総額の増減

期首残高	7,045,000円
時の経過による調整額	―
期末残高	7,045,000円

Ⅸ．減損会計関係

①　減損の兆候が認められた固定資産の名称、用途、種類、場所、帳簿価額等の概要　単位：円

名　称	用　途	種類	場　所	帳簿価額	備考
桐丘荘	職員・来学者用宿泊施設	建物・構築物	岩手県盛岡市西下台町18―38	6,092,976	
外国人教師等宿舎	教員用宿舎	建物・構築物	盛岡市上田三丁目23番１	5,287,100	
青山住宅第三地区２号棟	教職員用宿舎	建物・構築物	岩手県盛岡市青山三丁目25―２	2,034,058	
自啓寮	学生寮	建物・構築物	盛岡市上田三丁目18―15	110,231,711	

②　認められた減損の兆候の概要

桐丘荘は、新型コロナウイルスの感染拡大後、稼働率は回復傾向にあるが、リモート授業等による対応が増加したため、当初の見込みには達していない。

外国人教師等宿舎、青山住宅第三地区２号棟及び自啓寮は、入居者が減少し、当該宿舎の稼働率が当初の見込みよりも著しく減少している。

③　減損を認識するには至らかなかった根拠

桐丘荘は、引き続き使用することとしており、今後も遠方からの来学者等が当該建物に宿泊することが見込まれているため、減損を認識していない。

外国人教師等宿舎、青山住宅第三地区２号棟及び自啓寮は、現在も入居者がおり、引き続き使用することとしているため、減損を認識していない。

Ⅹ．重要な債務負担行為

翌年度以降に支払いを予定している債務負担行為は以下のとおりである。　単位：円

契　約　内　容	契約金額	翌期以降の支払金額
日産キャラバン	3,963,000	3,963,000
修士・博士論文製本　一式	3,181,860	3,181,860
岩手大学高度試作加工センター（東棟）改修電気設備工事	83,050,000	53,790,000
岩手大学理工学部北講義棟等改修設計	11,550,000	11,550,000
岩手大学農学部１号館217室他火災復旧工事	6,710,000	6,710,000
岩手大学農学部１号館217室他機械設備火災復旧工事	5,720,000	5,720,000

Ⅺ．重要な後発事象

該当する事項はない。

国立大学法人東北大学令和７事業年度財務諸表に関する公告

国立大学法人法（平成15年法律第112号）第35条の２において準用する独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第38条第３項の規定に基づき、国立大学法人東北大学令和７事業年度財務諸表について次のとおり公告します。

令和８年10月16日

宮城県仙台市青葉区片平２―１―１
国立大学法人東北大学　総長　冨永　悌二

貸　借　対　照　表

（令和８年３月31日）　（単位：百万円）

資産の部		
Ⅰ　固定資産		
１　有形固定資産		
土地	122,125	
土地減損損失累計額	△　10	122,114
建物	282,931	
建物減価償却累計額	△　164,520	
建物減損損失累計額	△　7	118,402
構築物	29,620	
構築物減価償却累計額	△　18,941	
構築物減損損失累計額	△　13	10,665
機械装置	4,945	
機械装置減価償却累計額	△　4,778	166
工具器具備品	226,149	
工具器具備品減価償却累計額	△　185,491	40,658
図書		25,187
美術品・収蔵品		1,701
船舶	95	
船舶減価償却累計額	△　81	13